
第12期 町田市福祉のまちづくり推進協議会

第33回 バリアフリー部会 会議録

【開催日時】2024年11月12日(火) 15時00分～16時30分

【開催場所】町田市庁舎2階 2-1会議室

【出席者】 会場参加14名 リモート参加2名 計16名

山崎晋、川内美彦、市川将志、松本大造、鈴木敬之、高梨光之、町田護、伊藤岳洋、金子和彦、日山幸宏、風間幸子、本間美穂、羽田明美、臼井文子、富山英紀、中村美奈子

【欠席者】

5名

【傍聴者】

2名

【事務局】

北川淳一、山野上亮、樽井晶、佐藤励

【会議次第】

1. 開会
2. 報告事項
3. 審議事項
4. その他

【報告事項】

1. まち歩き点検結果及び基本構想に記載する事業について
 - ・まち歩き点検現地調査の結果
 - ・バリアフリー基本構想に記載する事項について

【審議事項】

1. 成瀬駅周辺地区バリアフリー基本構想の改定素案について

【配布資料】

- ・ 次第
- ・ 資料1 意見位置図
- ・ 資料2 まち歩き点検現地調査結果(写真)
- ・ 資料3 バリアフリー基本構想に記載する事業について
- ・ 資料4 まち歩き点検現地調査結果一覧表
- ・ 資料5 成瀬駅周辺地区バリアフリー基本構想(改定素案)
- ・ 別紙1 まち歩き点検結果に関するご意見記入用紙

- ・ 別紙2 成瀬駅周辺地区バリアフリー基本構想改定作業の今後の進め方について

【議事】

1. 開会

午後3時に開会した。

事務局より、本協議会の出欠状況について報告された。

2. 報告事項

- (1) まち歩き点検結果及び基本構想に記載する事項について

事務局より、資料1～3について説明がされた。

A部会員	ソフト対策はハード面での対応が難しいため、ソフトで対応するとのことであるが、どこの施設でそのような対応してもらえるかを広報等で発信してもらえるのか。視覚障がい者の場合、施設に入ったときに誰か案内をしてくれるのかも分からない。事前に案内してもらえる施設がわかるように広報してほしい。
事務局	ソフト対策としての施設設置管理者の対応について、学識の先生方からも障がいの種別に応じたアプローチが必要だというお話があった。車いすの方はお声がけいただければ案内しますと言われても、まず施設に入れないので気づいてもらえない。障がいのある方が訪れたことを施設設置管理者側がどの様に把握するのかについても課題と捉えている。施設設置管理者の対応について、教育啓発特定事業の中で意識向上に取り組んでいく。また、情報の発信については広報やホームページ等での記載について検討していきたい。
A部会員	施設から案内をするためには事前に連絡をしてくださいと案内があっても、いざ連絡してみると色々都合が悪いと言われることが多いのが現状である。例えば、視覚障がい者の場合、電話をかけて、「これから行きます」と連絡後、案内をしてもらえるような調整をしていただきたい。 また、車いすの方が郵便局に入れないという記載もあったが、例えば目が届くような場所に「車いすの方が来場した際には、ここにスロープを用意してあります」と表示する等の配慮をしていただけたら非常にありがたい。お互いに、「やります」、「やって下さい」ということだけでなく、きちんとした対応をしてほしい。
部会長	対応しますという施設設置管理者側の意見のみではなく、実際に利用できるかという視点に立って改善してほしいというご意見であった。 施設設置管理者の広報だけでなく、市の広報に施設設置管理者の対応方法についての意見を載せることで市民にも伝わるのではないかと。
A部会員	資料4「なるせ駅前市民センター」の意見を見ると、階段の手すりへの点

	字の設置や点字ブロックの設置は困難と記載してある。点字ブロックは屋外に設置する場合、大規模な工事になるが、建物内に設置する場合は簡易的に設置できるタイプがある。その辺りをもう少し考えて対応していただきたい。階段の手すりへの点字の設置についても、町田市点訳赤十字奉仕団という団体があり、そこへお願いすればすぐに取り付けてくれる。安価で付けてもらえるということも大いにあるため考えていただきたい。
B部会員	担当課として予算を持っていないためどうしてもこのような書き方になってしまう。ハード面のご意見について、施設の中期修繕計画というものがあり、そちらには反映していきたいと考えている。なるせ駅前市民センターの要望として設計担当課と協議をしていきたい。手すりへの点字の設置にあたり施設内の手すりの数を確認したところ約80箇所あり、シールで設置した場合でも多額の費用がかかる。シールで安価にできるという話も検討はしたが、コロナ禍以降手すりやドアノブはアルコールで毎日清掃しており、なるべく耐久性のあるステンレスタイプを設置したいというのが施設側の本音だが、シールに比べ費用が約4倍かかるということでこちらも中期修繕計画での要望に入れることにしている。
A部会員	点字のシールについては確かに耐久性を考えると簡単なものでは難しいかと思う。ただ、なるせ駅前市民センターはまず入った瞬間に人が居なくてどうしようか迷うことになってしまう。職員が対応しますと言われても、エレベーターの位置もわからない状況で、視覚障がい者がスムーズに事務所へ行くことができる状況ではないと感じた。トイレも男女の区別がわからないということもあり、視覚障がい者が1人でも利用できる様な対応をしていただきたい。
C部会員	資料3の3ページ目について、実施可能なものだけが基本構想に記載されるということであるが、当面の実施は難しく基本構想で実施は出来ないが、次回改定時の参考として記載できないか。本来はこのような意見も出ているが、その中でどの箇所を改善するという状況が見えて良いのではないかな。長い期間での目標も記載してほしい。
事務局	まず法律に基づく話をすると、基本構想に特定事業として記載する事業には実施の義務が施設設置管理者に課されるため実施ができない、もしくは当面実施の予定が立たない場合は特定事業として記載しづらい。2019年度までの基本構想策定及び改定時は、特定事業にならなかったものは基本構想の中に一切記載していなかったが、行政側としてもしっかり記録として残していく必要があると考えており、昨年の相原駅周辺地区の基本構想の改定から、「バリアフリー部会のその他の意見」という欄を設けて、特定事業化にまでは至らなかったが地域のバリアフリーの課題として誰もが見ることが出来るよう基本構想の中に残していくという取り扱いとしている。記載した

	意見は行政が毎年取り組む進捗管理の中でこのような意見が出ていたということを施設設置管理者側に周知するなどして、運用していきたいと考えている。
--	--

3. 審議事項

- (1) 成瀬駅周辺地区バリアフリー基本構想の改定素案について
事務局より資料4、5に基づき説明がされた。

D部会員	この資料について、大変よく出来ていて感心している。成瀬地域のいろいろな方に見てもらえると非常に良いのではないかと考えている。このデータは市民に公開されるのか。例えばホームページに公開して、12月中旬頃からの市民意見募集の際に資料4をデータとして利用することが出来れば、より様々な立場にある市民の方からの意見が反映されるのではないか。
事務局	12月に市民意見募集を行う際に公表する資料としては、資料5の成瀬駅周辺地区バリアフリー基本構想の改定素案のみを予定している。市民意見募集を行う対象はあくまで改定素案であるが、資料4は地域の方にとって大事な情報になるということで理解した。施設設置管理者との調整段階で公表する予定があるとは伝えていないため、現在の資料の形で公表は難しいかもしれないが、会議資料の公表に関する取り扱いについては事務局として今後考えたい。
E部会員	福祉介護タクシー事業を営んでおり、車いすの方や足の不自由な方、高齢者の方の交通手段の1つとして利用していただいている。町田市内の施設を利用していただく中で、新しい建物に関してはハード面で中に入りやすい構造となっている。しかし、実際に中に入ってみると、それぞれの店の中がバリアフリーになっておらず、店の中に入らなかったという体験をされている方が非常に多い。これについて各店舗に強制をすることは難しいと思うが、例えば飲食店であれば保健所と連携をして車いすの方や目の不自由な方、耳の不自由な方でも利用できますというバリアフリー優良店のステッカーを貼ってもらうなどして、誰もが訪れやすいお店が1つでも増えることを願っている。
F部会員	町田市では、町田市福祉のまちづくり総合推進条例として、不特定多数の方が訪れる施設ではバリアフリーの状況を作るようにと制定しているが、まだその様になっていない部分もあるということは現状として把握している。また、ステッカーを貼るというご意見について、バリアフリーの条例の基準を満たしている施設には適合証というものを配布しているが、まだ認知が広がっていない状態である。適合証のあり方、基準の見直しという部分はユニバーサル社会推進計画の中でも検討することを示しており、今すぐには難し

	いが今後もどのような形で進めていくのが良いかについて検討していきたい。
A部会員	まち歩き点検の際にＪＲ成瀬駅の中を十分に点検できていなかったと思う。今はＪＲの駅の窓口も人が居ないことが多く、成瀬駅も窓口で声をかけても居ないことが多い。そこでお願いとして、窓口に点字や音声で「現在対応できない」という案内をしてほしい。文字で記された看板がついているのかもしれないが、視覚障がい者には窓口がどうなっているかが分からない。成瀬駅は町田駅の隣の駅でどうしても人が少ないと思うが、改善していただけるようにＪＲに働きかけていただきたい。
事務局	今の意見について、Ｇ部会員に内容をお伝えした上で、他の駅でどの様に対応しているのかをお伺いしながら検討し、結果については個別にお答え出来るように調整したい。
部会長	本来は人が常時いるという状態が出来なくても、ＪＲはビデオ通話の様なシステムもあるため、それは成瀬駅では出来ないかを考えることになるかと思う。それも不可能であれば、現在は窓口対応が出来ませんというアナウンスをするという様になる。いずれにしろ、そこにあるかどうか分からないという状態が一番良くないため、事業者の方に伝えていただきたい。
A部会員	昨年相原駅の点検をした際は連絡用のボタンがあったかと思うが、成瀬駅ではそこまで点検ができなかったためそのボタンがあるのか確認できなくて残念だった。
H部会員	これだけの資料を作っていただき、暑い時期にまち歩き点検をしたかいがあったと思う。普段は気付かない様な、ここはつまずきやすい、ここは歩道が狭い、ここはスロープが無いということ等のいろいろな問題点が見えてきた。それを意見として出し合い、また行政の方や施設設置管理者の方がそれを受けて考えて、少しずつ改善に向かっていると感じ大変うれしく思った。行政の方も大変な資料を作成していただき感謝したい。少しずつでも町田市が福祉の面でも良い街になることを願っている。
事務局	暑い中でのまち歩きになったことについては課題であると考えている。例えば基本構想を２年に渡り検討することでまち歩きの時期を秋口にすることが出来ないか等、今後考えていきたい。
C部会員	成瀬駅から北に向かっていくルートには急な坂が多かったと思う。町田市は急な坂が結構あるため、今回でなくてもそれらを調査して地図や案内板上でわかる様な形で表示することを検討していただきたい。以前、新宿御苑に行った際、インターネットで見られるバリアフリーマップがあり、その表示の方法が単純な割にわかりやすいと感じた。街なかに貼っている掲示物やマップでも出来れば今後工夫していただきたい。車いすでは１人では行けないと感じることもある。その他の意見としてでも記録しておいていただけると

	良い。
部会長	大きな変更が無ければ最終の素案については部会長に一任していただきたい。その後にも市民意見募集の場があるため、何かあればそこでご意見いただければと思う。

4. その他

事務局から別紙２ 基本構想改定作業の今後の進め方に基づき説明がされた。
質問・意見なし

次回のバリアフリー部会は２０２５年２月２１日の予定。
詳細が決まり次第、部会員に連絡をする。

以上